



福祉だより ひらつか 160号

令和7年（2025年）3月

発行 社会福祉法人
平塚市社会福祉協議会 **50th**
法人化

〒254-0047
平塚市追分1番43号（福祉会館内）
TEL：0463(33)1377 FAX：0463(33)6588



平塚市社協

検索

公式サイト

<http://www.hiratsukasyakyo.jp/>

平塚市社会福祉協議会法人化50周年 ～50年分のありがとうとこれから目指すもの～

平塚市社会福祉協議会は令和7年3月31日に法人化50年を迎えます。社会福祉協議会（略して、社協）は、地域社会において民間の自主的な福祉活動の中核となり、住民の参加する福祉活動を推進し、保健福祉上の諸問題を地域社会の計画的・協働的努力によって解決しようとする民間非営利団体です。また住民が安心して暮らせる福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進に取り組んでいます。

法人化50年の歩み

1953 ● 平塚市社協設立
法人化 ● 1975



2005 ● 3月 法人化30周年 ▲30周年記念誌
4月 地域包括支援センター受託・開始

東日本大震災

2012 ● 法人後見事業開始

成年後見利用
支援センター受託・開始

2014 ●

2015 ● 4月 生活困窮者自立相談
支援事業受託・開始



▲障がい者福祉サービスの屋上ランチの様子

2016 ● 障がい者福祉
サービス事業開始

2017 ● 在宅医療・介護連携支援
センター事業の受託・開始

子ども・子育て支援
ネットワークを立ち上げ

2020 ● コロナ禍

2024 ●

1月能登半島地震・8月台風
初めて災害ボランティアセンターを
立ち上げ



▲災害ボランティアセンターの活動の様子

2025 ● 法人化50周年

木川康雄会長へインタビュー

Q. これまでの50年を振り返ると？

A. 平塚市や地域のみなさまに支えられ、本会の使命である「誰もが支え合いながら安心して暮らせる『ともに生きる豊かな地域社会づくり』」を推進してきました。自治会、地区社協を始め、地域で活動する方たちの支援があったからこそ心から感謝しています。

Q. 近年で地域福祉を取り巻く状況で変化したことはありますか？

A. 高齢者の分野では家族介護から介護保険制度へ大きく変わりました。少子高齢化、核家族化、家族や地域のつながりが希薄化する中、社会的孤立や生活困難、ヤングケアラーなど多くの課題が表面化しています。近年では行政の支援だけでなく、市民やボランティアの力が欠かせなくなっているように感じています。

Q. これから市社協は何に力を入れていますか？

A. 高齢社会が益々進み、公助だけでなく自助や共助が求められることが多くなると想定しています。市社協では令和4年度から「コミュニティ・ソーシャル・ワーカー（CSW）」事業を始め、制度の狭間で困っている方たちを行政や地域の各種関係団体、福祉サービス事業者などと一緒に解決へ向けお手伝いしています。今後も、「みんなでみまもる ゆるやかなつながり」を合言葉に、地域共生社会の実現に努めてまいりますので、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

本会の総合企画委員会副委員長・森久保俊満先生に「社会福祉の流れとこれからの社協に求められること」をテーマに寄稿いただきました。

地域の力を糾合する社協の歴史

昭和28年、平塚の民生委員・児童委員の方々の尽力により「地域社協」が誕生したとき、まだ戦争の痛手は消えておらず、貧困問題を中心とした生活支援が始まりました。そして「地区社協」が次々と結成され事務局機能も強化され、平塚社協は「市町村社協法制化」に先駆けて昭和50年には社会福祉法人として新たなスタートラインに立ちました。この頃から急速な人口高齢化への対策がはじまり、「善意銀行」はまもなくボランティアセンターとして活動を開始します。平成3年には栗原ホームが開設されて「在宅サービス」や相談・支援機能が生まれました。その後介護保険によるサービス提供やよろず相談が展開されるようにな

り、さらには介護と医療の連携や成年後見など専門機能の強化発展につながっています。

このようなプロセスからは、大きな制度実現もその原点は地域活動にあることがわかります。そして制度化されたしくみには狭間も生まれます。民生児童委員、そしてファミリーサポートセンターや町内福祉村の地域に密着した活動は、身近な頼りになる存在であり、常に新たな課題を

見する貴重な役割を担っています。

平塚市社協はその誕生以来、福祉活動を通じた地域の力や絆をバックアップし、支援の送り手・受け手一人ひとりの顔が見える活動を生み出してきました。その強みを活かして今後もネットワークを拡げ、日常生活支援や災害時などにも地域の力をひき出し糾合できるような益々の発展を祈念しております。今年で法人化50年、誠におめでとうございます。



もりくぼ としみち

森久保 俊満さん

2001年東海大学奉職。健康科学部助手、講師、准教授を経て現在同大学教育開発研究センター准教授。山野美容芸術短期大学客員教授。専門は医療・福祉にかかわるコミュニティ政策。

賛助会費のご納入ありがとうございました

今年度も各世帯・事業所・企業など多くの皆様に会員となっていただきました。また賛助会費の集金においては地区社会福祉協議会をはじめ民生委員児童委員協議会、自治会町内会等皆様にご協力いただき誠にありがとうございました。賛助会費は地区社協と市社協にて地域福祉のため大切な財源として活用させていただきます。

地区賛助会費 55,319件 17,461,408円

企業賛助会費 72口(5,000円/口) 360,000円

令和6年度 企業賛助会員のご紹介(令和7年1月現在) ※敬称略、順不同

- | | | | | |
|----------|-----------|--------------|-------------------|---------------|
| ・(株)葦 | ・(株)庄治郎丸 | ・(株)平塚イトウネジ | ・(株)コスモ・サイエンス | ・(特非)ワーカーズ・ |
| ・(株)相吉 | ・(株)湘南美装 | ・(株)宮崎印刷所 | ・みずほ証券(株)平塚支店 | コレクティブういず |
| ・(株)郵生 | ・神田交通(株) | ・(株)金子電機空調 | ・(株)Do gather | ・(一社)全国子育て |
| ・(株)日装 | ・平塚化成(株) | ・(株)横浜テクニカ | ・(医)慶水会 前田産婦人科 | タクシー協会事務局 |
| ・平塚商工会議所 | ・(株)中尾住器 | ・湘南倉庫運送(株) | ・(株)神奈川環境クリエイト | ・(特非)障害児・者・家族 |
| ・川口金属(株) | ・平塚交通(株) | ・(有)サンクリーン | ・高砂香料工業(株) 平塚工場 | サポート事業所スプラウト |
| ・(株)ヒラボウ | ・(株)浅沼建設 | ・(株)坂尻モーターズ | ・(株)ヤスエコーポレーション | 匿名7件 |
| ・扶桑工業(株) | ・高橋産業(株) | ・守屋和徳税理士事務所 | ・ペーパードライバー講習合同会社 | |
| ・(有)鍋屋商店 | ・(特非)ナスクル | ・(株)エス・ケイ・ディ | ・根本特殊化学(株) 平塚事務所 | |
| ・(株)サントー | ・(株)原電気商工 | ・(株)日産サテオ湘南 | ・介護付有料老人ホーム 慶愛苑平塚 | |

あたたかい善意をありがとうございました

寄附金は地域福祉事業を行う上で大きな支えとなっています。下記種類のほか、事業指定のご寄付も可能です。今後とも皆様のご協力をお待ちしています。

【社会福祉基金へ 合計25件 473,817円】(令和6年11月21日~令和7年1月20日) ※敬称略、順不同

- | | | | | |
|----------|------------|---------------|----------------------------|----------------|
| ・(株)日装 | ・平塚化成(株) | ・(株)Do gather | ・高砂香料工業(株) 平塚工場 | ・(株)神奈川環境クリエイト |
| ・平塚友の会 | ・(株)金子電機空調 | ・(株)平塚イトウネジ | ・(福)進和学園しんわ本人自治会連合会 | ・日産車体(株)工長会 |
| ・(株)庄治郎丸 | ・カトリック平塚教会 | ・(株)コスモ・サイエンス | ・三菱ケミカル労働組合神奈川支部平塚分会 | |
| ・神田交通(株) | ・なでしこクリニック | ・(株)大日商会 平塚工場 | ・NPO法人 KOKORO訪問看護ステーションひかり | 匿名7件 |

「福祉だよりひらつか」は皆様からの賛助会費と赤い羽根共同募金により発行しています。